

# 東電の相次ぐ不正に批判続出 上越市でも東電の住民説明会開催

9日の夜、上越文化会館で東京電力の住民説明会が開催され、60人ほどの住民が参加しました。

東電側からの説明後の質疑はやはり予想通りでした。「(原発の中央制御室への不正入室は)住民感覚と大きくずれている。適格判断を返すすべきだ」「福島事故から何を学んだのか。なぜ起きたかも言わない。私たち市民は命を東電に預けた覚えはない。安全性についてどう責任をとるのか」「人による不正、ミスは避けられない。自然災害も巨大化している。テロなども想定される。なぜ危険なこと(原発)を続けているのか」「2つの不祥事の原因、その分析結果を明らかにすべきだ」。他人のIDカードを



使って中央制御室に不正入室したことや安全対策工事が終わっていないにもかかわらず終わったことにしていた問題を中心に批判が続出しました。

新型コロナウイルス対策をとられているなかでの住民説明会開催。東電の説明者の言葉は丁寧でしたが、参加者の「本当のことを知ってほしいという誠実さがない」という発言はその通りだと思われました。特に最後の場面、新潟本社代表の閉会挨拶は座ったまま、しかも原稿の棒読みでした。たぶん、他の会場でも同じものを読み上げたのでしよう。違和感を持ちました。

豪雪時の救急車、到着時間は普段の倍の20分

上越地域消防事務組合議会の定例会が8日開催され、傍聴してきました。

議案審議の中で注目したのは平良木議員の豪雪時の消防組合の活動、特に救急車についての質問です。同議員は「普段以上の苦勞があったと思うが、除雪が行きとどかず、救急車両が入れないなど重大な支障はなかったか」と質問しました。これに対して伊藤消防局長は、「大雪は災害という認識のもと、大雪時に必要な資機材を積んでしっかりと責任を果たせるようにした。救急出動で遅れはあったものの、事前に先方からご理解をいただいで活動してきた。苦情はなかった」と答えました。答弁の中では、人工透析

患者の人で公共交通機関を使って医療機関へ行くことができなかった人がいて、救急車で搬送したケースが10件ほどあったことも明らかにされました。たいへんな状況だったことが改めて確認できました。



【アワユキエリカ】ツツジ科の常緑低木。南アフリカ原産。市役所玄関に展示されている花です。(有)北陸園芸さんの説明によると、「粒状の花が全体に淡雪を被ったように美しく咲く」そうです。ただ、霜に遭うと花が傷み、一度水をきらすと枯れるとか。花言葉は「協力」。写真は2月5日、撮影しました。



7日から14日まででは平均25・2分だったという事です。少しでも短くなるようにしたいものです。

## 豪雪被害への補助求める

5日の衆院予算委員会、日本共産党の藤野保史議員は、北陸各地や上越市などの調査をもとに、災害救助法の適用を受けた多くの自治体が除雪予算を使い切っているとし、幹線道路や生活道路を除雪できるよう国の交付金の追加配分や除雪費補助の臨時特例措置の速やかな実施を求めました。

また、農業用ハウス被害についても言及、「(ハウスの)再建に1棟250万円かかる」という農家の声も紹介しながら、消費税の増税

やコロナ禍による米価・野菜価格の暴落の上に今回の被害が発生しているとして、制度の枠にとらわれず必要な支援をスピーディーに実施するよう求めました。



# はしづめ法一の活動レポート

**No.1998 2021.2.14**  
 発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず  
 Tel 025-548-3628  
 通じないときは 090-5392-1961  
 E-mail hasiznyg\_0808@yahoo.co.jp  
 URL <http://www.hose1.jp/>

ブログ  
 「ホーセの見  
 てある記」は  
 ← こちら

橋爪法一 検索

# 春よ来い

## 第六四五回

## 冬晴れの日に

今回も一月下旬の火曜日の話です。この日はYさんのおもてなしのこと以外にも書きたくなる出来事がいくつもありました。

この日、私は朝早くから車で「しんぶん赤旗」の配達に出ました。吉川区山方から原之町の住宅街に入ってもまもなくでした。車の前方が真っ赤に朝焼けしていました。

すぐにカメラを取り出して撮影を始めたのはいうまでもありません。住宅街から見る朝焼けの風景は初めてでした。電柱や電線などがありました。生活感があり、住宅街の朝焼けも悪くないと思いました。

朝焼け風景は大乗寺や下町でも何枚か撮りました。うれしかったのは下町の田んぼでのことでした。なるべく尾神岳の姿も入った写真にしたいと思い、道路脇の雪の壁を乗り越え、田んぼまで下りたときでした。びっくりしましたね。長靴がまったく埋まらなかったのです。そうです、凍み渡りができたのです。

私は下町の田んぼでも、事務所近くの代石の畑でも雪の上をどどん歩きまわりました。平のところであろうがへこんだところであろうが、どこを歩いてても埋まらない、こんな愉快な体験が一月にできるなんて最高です。静止画像だけでなく、動画も数本撮りました。そのなかの一本には、鳥倉団地の方から小苗代方面へと飛んで行った三羽の雁の姿も入っています。

上中旬に降ったとか雪の片付けも進み、朝から楽しいことがある、こういときは気分が上向きです。この日は、会う人会う人、みんなつれづれに見えました。

この日の午前中、私は家や事務所のまわりの除雪を二時間半ほど行い、午後には一度、家に戻ろうと車をゆっくり走らせていました。すると、前方に、リュックを背負い、背筋を伸ばして歩いている男性の姿が目に入りました。そばまで行ったら、近くの集落のーさんでした。声をかけると、

「ちよっとひと回りしてこようと思っ  
て……」という言葉が返ってきました。

青空が広がっていて、暖かい。午前はガリガリに凍っていた道は緩んで歩きやす  
い。リュックを背負っていたところからみ  
て、ひよっとすると一〇分ほど歩く覚悟  
が出来ていたのかも知れません。二言三  
言、言葉を交わした後に、再び歩き出し  
たーさんの後ろ姿を見てびっくりしました。  
十数年前に亡くなったお父さんにそっくり  
だったので。

今年は大雪だったので、わが家の除雪機  
の燃料である軽油はすでに六〇リットル以上使っ  
ていました。この日も頑張ったので、わが  
家にある軽油は少なくなっていました。そ  
れで、午後から原之町のガソリンスタンド  
へ買いに出かけました。

お店のスタッフの方に軽油を入れていた  
だいて、私はガソリンスタンドの事務室へ  
向かいました。

ドアを開けたら、旧源中学校出身で隣の  
区に住んでいるAさんがイスに座り、ニコ  
ニコして私の顔を見えています。「やあ、久  
しぶりだね。元気かね」そう言うと、「二  
週間ばか、病院に入ってきたけど……」そ  
う言って、話してくれました。

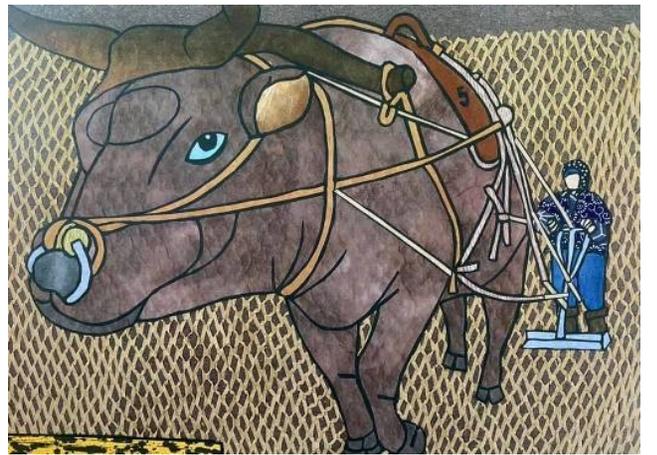
なんでも親戚の騒ぎに出たときに体の一  
部に異変を感じ、手術をすることになった  
ということでした。私は数年前に足の裏を  
切る手術をしたときに、麻酔が効かず、激  
痛が走ったという話をしたのですが、Aさ  
んは、「おれは全身麻酔で痛くねかった」  
と言ってまた笑いました。まあ、元々よく  
しゃべる人ではありますが、この調子な  
ら、病気が逃げているんじゃないかな。

この日は、夕方までずっと晴れでした。  
午後四時前に戻って、プレハブの窓際に置  
いていたフキノトウを見ると、夕日を受け  
て黄緑色の葉っぱがキラキラと輝いていま  
した。冬はもうひよつ月です。

## 牛を使った田んぼ仕事を切り絵に

直江津は石橋の食堂・喫茶に  
展示されている西山英夫さんの  
切り絵が新しいものと替わりま  
した。

今回も懐かしい作品がいくつ  
も展示されていました。そのな  
かで一番気に入ったのは牛を  
使って田んぼ仕事をしている様  
子を伝える作品です。牛は力強  
いですね。人間がマスクをして  
いるのは西山さんのユーモアで  
しょうか、いい作品でした。



## あるがままで輝く

吉川区代石の善長寺の掲示板も  
このほど替わりました。

書かれている言葉は、「あなた  
はあなたのままで美しい 私は私  
のままで幸せ 命ある全てのもの  
はそのまま輝いている あるが  
ままの私たちを救ってくださる  
阿弥陀様に感謝」。

この言葉も掲示板の中の貼り絵  
も前住職のお連れ合いの作品だ  
ということでした。素敵です。

## ニュースフラッシュ

### 上越地域各消防署における 空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	2月3日(水)	2月10日(水)
上越南消防署	0.047	0.047
上越北消防署	0.040	0.037
新井消防署	0.057	0.057
頸北消防署	0.050	0.050
頸南消防署	0.073	0.067
東頸消防署	0.053	0.043
名立分遣所	0.053	0.053
高士分遣所	0.060	0.053

